

市立若葉台特別支援学校で 選挙に関する出前授業・模擬投票を実施

横浜市教育委員会と横浜市選挙管理委員会では、「主権者教育」における連携・協力に関する協定に基づき、市立学校での主権者教育の取組を推進しています。

このたび、若葉台特別支援学校・旭区選挙管理委員会と連携し、12月12日(月)に選挙に関する出前授業と模擬投票を実施しました。通常の選挙で使用する投票用紙、記載台や投票箱等を使用し、実際に近い投票体験を通して選挙を身近に感じてもらう取組を実施しました。

今後も出前授業や模擬投票を通じた主権者教育の推進とともに、誰もが投票しやすい環境づくりの取組(裏面)を進めていきます。

選挙出前授業・模擬投票概要

実施日：令和4年12月12日(月) 10:55~12:40

会場：横浜市立若葉台特別支援学校(横浜市旭区若葉台2丁目1-1)

参加者：出前授業 26名(B部門3年生) 模擬投票 41名(A部門高等部1~3年生・B部門3年生)

出前授業：「選挙があることを知ること」から「投票する」までの一連の流れを講義

模擬投票：架空の市の市長選挙(わかば市長選挙)をもとに模擬投票を実施

生徒のコメント(候補者を選ぶときあなたがこれから大事にしていきたいポイント)

- ・その人の話していることを理解して、今の街に何が足りないかを考え信頼できる人に投票していきたい
- ・自分の考えに近い人や共感できる人が多い人、特定の市民だけが対象でない人を選びたい
- ・まずもっと選挙に興味をもちたいなと思いました。その人は少子高齢化でどんなことをやりたいと思っているのか、魅力的なまちづくりではどんなことをしようと思っているのかなど、まずはその人のことを沢山知って、そこから細かい部分の考えなどを深めて、素敵なまちを作ってくれる人を自分の意見で選んで、投票したいと思いました。演説などをやっていたら少しでも聞きたいと思いました。



若葉台特別支援学校

横浜市立特別支援学校唯一、肢体不自由教育部門(A部門)と知的障害教育部門高等部(B部門)の異なる障害種を設置する初の併置校です。B部門では、校内にコミュニティハウスやカフェのある特徴を生かし、校内実習(オフィスサポート、ビルメンテナンス、パン工房)、企業等における現場実習などキャリア教育を中心に据えた特色ある教育課程を進めています。

裏面あり

<参考>

誰もが投票しやすい環境づくりの取組

横浜市選挙管理委員会では、投票に来られた方が安心して安全に投票できるよう、「誰もが投票しやすい環境づくり」を目指して投票所の設備等のハード面とともに、投票所における接遇マニュアルを従事者に配付するなどソフト面の充実にも取り組んでいます。



市ホームページ：<https://www.city.yokohama.lg.jp/city-info/senkyo/system/vote/daremoga.html>

お問合せ先

(学校教育活動に関すること)	教育委員会事務局特別支援教育課長	高木 美岐	Tel 045-671-3956
(若葉台特別支援学校に関すること)	横浜市立若葉台特別支援学校長	小林 淳一	Tel 045-923-1300
(選挙出前授業に関すること)	選挙管理委員会事務局選挙課長	廣澤 宣幸	Tel 045-671-3333